

日本学術会議 地球惑星科学委員会
第1回 SCOR 分科会議事録

日時：平成29年11月29日（水）15:00-17:00

場所：日本学術会議6階6-A(1)会議室

出席者：山形俊男、沖野郷子、蒲生俊敬、窪川かおる、齋藤文紀、原田尚美、古谷研、益田晴恵、
渡邊良朗（五十音順）

欠席者：植松光夫、白山義久、張 勁、新野宏、花輪公雄

議題

1. 役員（委員長、副委員長、幹事）の互選
2. メンバー確定（特任連携会員の追加等）
3. SCOR 総会（ケープタウン会議）の報告と今後の課題など
4. 第24期 SCOR 分科会活動方針の策定・確認
5. 2019年度富山会議への準備
6. 小委員会の立ち上げについて（世話人の確定、メンバーの確定、学術会議への申請）
7. その他

配布資料

資料1 SCOR 分科会設置提案書およびメンバー表

資料2 代表派遣報告（SCOR）

資料3 GEOTRACES 小委員会設置提案書

資料4 GEOTRACES 小委員会委員候補者名簿

資料5 SIMSEA 小委員会設置提案書

資料6 SIMSEA 小委員会委員候補者名簿

資料7 IIOE-2 小委員会設置提案書

資料8 IIOE-2 小委員会委員候補者名簿

机上配布資料 「SIMSEA の科学的基礎の確率に向けた戦略的取組」日本海洋政策学会誌第7号、
133-144.

議事

1. 山形委員長が互選により選ばれた。副委員長に張、窪川が、幹事に蒲生、沖野が就任した。
（資料1）
2. 川口慎介連携会員に委員就任を打診することになった。委員長から、地球惑星科学委員会に報告し、事務局を通して幹事会に提案する。
3. 特任連携会員を日比谷紀之（東京大学）、升本順夫（東京大学）、野村大樹（北海道大学）、青山道夫（福島大学）の4氏に打診することとなった。委員長から、順次、地球惑星科学委員会に報告し、事務局を通して幹事会に提案する。
4. 山形委員長から、平成29年9月4日～6日に南アフリカ共和国ケープタウンで開催された第43回 SCOR 執行理事会の会議内容が報告された。次回総会は平成30年9月3日～5日に英国プリマスで開催される。（資料2）

5. 山形委員長から、SCOR 事務局へのアウトリーチ活動などの報告、SCOR 本部のホームページの日本 SCOR に関する記載更新に対処するとの報告があった。平成 30 年 9 月にプリマスで開催される SCOR 総会への代表派遣補助の申込締め切りは来年 1 月 5 日であり、山形委員長と張副委員長の二名で申込むことになった。
6. 第 24 期 SCOR 分科会の活動に関して自由に議論した。おもな内容は次の通りであった。SDG14 との関連、東京大学大気海洋研究所研究船共同利用運営委員会委員の推薦、研究船・練習船等の船舶の利用促進への課題、大型研究計画との関わり方、地球惑星科学委員会との関係、提言等の意見の発出、海洋分野のネットワークの在り方など。提言の作成をめざすこととし、その内容については、海洋科学の振興、海洋分野のネットワーキング等を中核として、1 年目に提言の骨子を定め、次年度にワークショップ等を開催し、準備を進めることとなった。
7. 2019 年富山会議について議論した。日本海洋学会大会と連動して SCOR 執行理事会(30-40 名)と国際シンポジウムを開催するため、大会との関係を考慮しつつ準備委員会を設置し、体制作りを急ぐこととなった。
8. GEOTRACES 小委員会の設置および委員を確定した。(資料 3, 4)
9. SIMSEA 小委員会の設置および委員を確定した。(資料 5, 6、机上配布資料)
10. IIOE-2 小委員会の設置および委員を確定した。(資料 7, 8) 3 つの小委員会の設置案は委員長が作成し、地球惑星委員会を経て幹事会に提案され審議される。
11. 齋藤委員から、SOLAS、IMBER など、他分科会に属する委員会との連携が提案された。

次回は例年通り、平成 30 年 6、7 月頃に行う予定。

以上